

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

憲法を守り 教育を大切に政治を

もうすぐ参院選 選挙に行ったら政治を変えよう

2022参議院選挙

7月10日投票(予定)の参議院選挙が迫ってきました。いのちと暮らし、教育を守り、平和な社会を実現するために、「私たちの一票」を投じて、要求実現を可能にする政治に転換しましょう。

いのちと暮らしを大切に政治を

新型コロナウイルスの感染拡大と政府による対策の遅れが国民生活を深刻な状況に追い込んでいます。新自由主義的な政策のもと、医療や公衆衛生体制を弱体化させてきました。

また、コロナ感染への懸念が収まらないなか、物価高騰という新たな危機が国民の暮らしを直撃しています。賃金は上がらないのに物価は上がり続け、生活が苦しくなるのは当然です。消費税の減税や大企業への応分の課税、最低賃金の大幅引き上げなど、国民のいのちと暮らしを守る政治が求められます。

投票はどうやるの？

参議院選挙では2回投票します

選挙区選挙は
候補者名で投票



比例代表選挙は
政党名または
候補者名で投票



仕事や行楽などで選挙当日に投票ができない場合、事前に投票することができます。各市区町村の「期日前投票所」において、午前8時30分から午後8時までです。郵送された「投票所入場整理券」を持参するか、所定の書類に必要事項を記入すれば、簡単に投票できます。 ※整理券を忘れても投票できます。

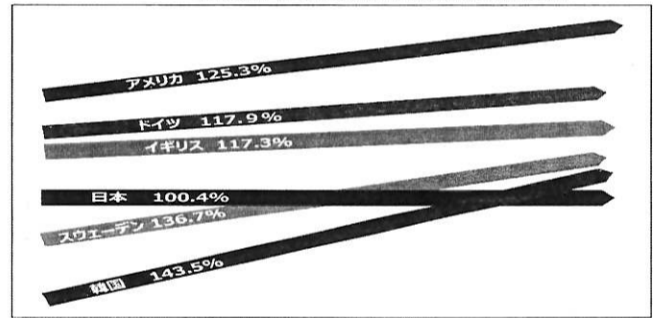
憲法を守り平和な社会を

ロシアのウクライナ侵略に対して、撤退を求める声が世界中で高まっています。しかし、日本では、防衛費2倍化や敵基地攻撃能力の保有、「核共有」、「憲法9条では国を守れない」と、軍事対軍事の社会をめざす動きがあります。第2次世界大戦後の国際秩序が揺らぐなか、75年前に日本が世界に向かった発信した平和主義の原点に立ち戻り、憲法を守り生かして平和な未来を築くことが求められます。

だれもが大切にされる教育の実現を

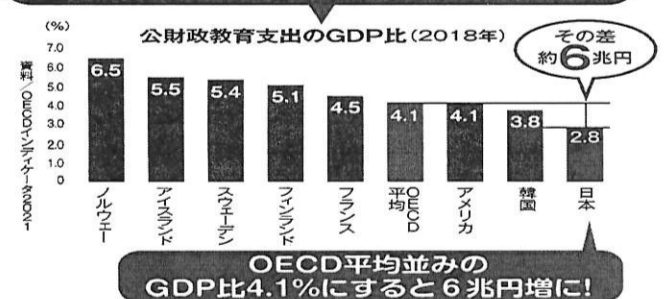
日本の教育予算は世界と比べても低く、教育費の無償化や子どもたちの教育条件整備はすすんでいません。日本の国民総生産(GDP)に対する公財政教育支出(国や地方自治体の学校教育への支出)の割合は2.8%(2018年)とOECD諸国の中で最低レベルです。この割合をOECD諸国平均の4.1%まで引き上げれば、約6兆円(その差約6兆円)の増額が必要です。円(その差約6兆円)の増額が必要です。円(その差約6兆円)の増額が必要です。

2000年から2020年の賃金の伸び率



(出所) OECD「エコノミックアウトルック」から作成。

世界に比べても低すぎる教育予算



OECD平均並みのGDP比4.1%にすると6兆円増に!

大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/>

Eメールアドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp

書記局の

つうしん

アマゾン、アップル、スターバックスという米国巨大企業で労働組合結成の動きが活発です。ちなみに米国で労働組合を結成する場合、従業員投票の過半数の賛成が必要で高いハードルがあります。米国のアマゾン労働組は、今年4月にニューヨーク市スタテン島の8000人以上の従業員が働く集配センターで結成されました。コロナ禍でアマゾンは莫大な利益を得ながら、集配センターの従業員は不十分な感染対策、劣悪な労働環境で働かされていました。労働組結成を主導したクリス・スモールズ氏は、招致された米議会でも、大企業を擁護する共和党議員に言いました。「あなたは企業や経営のことばかりを語るが、人間こそが企業を動かす、その人間が保護されていないことを忘れていませんか?」

全米初のスターバックス労働組は、昨年12月9日のニューヨーク州バッファローの店舗で誕生し、現在では100以上の店舗で労働組合が結成されています。スターバックス労働組のメンバーは記者会見で「今日まで会社側に意見を言えなかった。もう沈黙しない」と語っています。

翻って大阪の障害児学校の現場はどうでしょうか。異常な長時間労働、あとを絶たない病気、休職、学校経営計画と目標管理システムの下での上意下達。大障教が5月21日に開催した2022年度定期大会では、様々な困難に立ち向かい、教職員の要求実現をめざす職場のたたかいが豊かに交流されました。学校の施設設備改善を求める活動、支援学校増設の運動、職場のハラスメントを根絶するたたかい、母性保護拡充の粘り強い取り組み等々。これら一つひとつの頑張り、専門職としての教職員の誇りや教育のやりがいを取り戻したたかひでもあります。皆さん、大障教とともに歩みませんか。(S)

大障教定期大会

発言ダイジェスト (その1)

職場要求アンケートをもとに要求実現をかちとった!

交野支援学校四條畷校分会 鈴木代議員



「四條畷校分会では、毎年1学期に職場要求アンケートを実施し、その結果をもとに分会役員会で検討し、要求書にまとめています。最も要求が多い「四條畷校存続」や「評価・育成システム」撤回などについては大障教にあげ、特に「四條畷校の独立校としての存続」については、本部交渉などで数年にわたり支援教育課に訴えてきました。

昨年度は、洋式便器が一つしかない男子トイレの改修が、大きな要求として挙がってききました。使用中だと他の遠いトイレまで行かねばならず、そのために生徒が授業に遅れることも頻発していました。そこで、課別交渉で施設財務課にトイレの改修を訴えまし

「全面改修は予算の確保がむずかしい」という回答でしたが、「いま現在、生徒が困っている。せめて使われていない和式便器を洋式に」と訴えました。

その後、事務長から、「施設財務課から電話があり、和式を洋式に改修してくれるそうだが」と私に報告してくれました。男子トイレのことで一番困っている学年の主任の先生に報告すると、とても喜んでくれました。

思想・信条は違っても、要求を一致して団結することは組合活動の根幹です。要求を掘り起こし、束ね、団結して要求実現をかちとっていく、そのことが、組合の存在意義だと思います。

交流したい!つながりたい!青年部を盛り上げよう!

青年部 箕輪代議員

近年コロナ禍の影響を受け、様々な制限の中で青年部のとりくみを試行錯誤しながら行ってきました。春秋に行われていたスポーツ大会が中止になり、また教研もオンラインで行われることが多くなりました。

昨年度青年部として実施したアンケートには「交流したい」「つながりたい」という意見が多数寄せられました。こうした青年教職員のねがい・想いをしっかり受け止め、工夫して開催するようにしました。たかつガーデンとオンラインの併用で、気軽に安心して参加できるように青年部委員会を原則1度開催し、後には「カリバタ」として各学校の青年教職員の交流の場を設けています。自分の学校内では言えないことでも、カリバタなら話ができ、悩みも不安、想いも共有でき「また明日あるから頑張ろう」と思える元気につながっています。今後とも青年部を盛り上げてく

退任役員を紹介

戸田勝浩さん
2003~2021年度まで執行部役員を務められました。2011年度から2019年度にかけては府障教(2017~大障教)執行委員長を担い、ご尽力されました。



西面委員長より紹介される、今年度退任役員のみなさん

中道勝久さん
1992~2021年度まで執行部役員を務められました。1997年~2001年度にかけては書記長を担い、ご尽力されました。



撰津支援分会 野々村代議員



議長



佐野支援分会 鶴見代議員



枚方支援分会 橋本代議員

大会役員のみなさん おつかれさまでした!

議事運営委員長



北視覚支援分会 横山代議員

書記



堺支援分会 津田代議員



泉南支援分会 辻内代議員